

第 2 3 2 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 8 年 7 月 2 9 日 (金) 1 4 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 向井 千秋、井野瀬 久美恵、花木 啓祐

(第一部) 小森田 秋夫、杉田 敦、小松 久男、恒吉 僚子

(第二部) 長野 哲雄、大政 謙次、石川 冬木、福田 裕穂

(第三部) 相原 博昭、土井 美和子、大野 英男、川合 眞紀

(事務局長) 駒形 健一

(事務局次長) 竹井 嗣人

(課長等) 小林 真一郎、小川 初治、井上 示恩、石井 康彦、鈴木 孝介

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 科学と社会委員会の委員を決定した (追加 1 件)

(2) 国際委員会運営要綱の一部改正 (新規設置 3 件) 及び分科会委員 (追加 1 件) を決定した。

(3) 分野別委員会運営要綱の一部改正 (名称及び調査審議事項の変更 1 件) 及び委員会、分科会及び小委員会委員 (1 分科会、2 小委員会) を決定した。

○名称及び調査審議事項の変更

・地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同地球環境変化の人的側面 (HD) 分科会 KLASICA 小委員会

(4) 報告「高レベル放射性廃棄物の処分をテーマとした web 上の討論型世論調査」について、社会学委員会討論型世論調査分科会の今田高俊委員長、坂野達郎幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(5) 報告「大型レーザーによる高エネルギー密度科学の新展開」について、総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会の犬竹正明委員、三間罔興委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(6) 日本学術会議が加入する国際学術団体について調査結果の報告が行われ継続加入を適当と認めた。

(7) 平成 28 年度代表派遣について、実施計画の変更、追加及び派遣者を決定した。

(8) International Data Week (IDW) の共催及び外国人の招聘について決定した。

(9) 大気化学と地球汚染に関する国際委員会 (iCACGP) 科学運営委員会、地球大気科学国際協同研究計画 (IGAC) 科学運営委員会 2016、同科学委員会 2016 の共催及び外国人の招聘について決定した。

(10) 日本 - イスラエル・ワークショップの開催について決定した。

(11) ネパールの学術機関等との会合に会員を派遣することを決定した。

(12) 14 件のシンポジウム等の開催、1 件の国際会議の後援、6 件の国内会議の後援を決定した。

- (13) 「実験研究の再現性向上に関する声明案」に賛同することを決定した。
- 3 その他事項として、第 172 回総会及び今後の幹事会日程について確認が行われた。
- 4 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 定年により退任する会員の連携会員への就任について決定した。
- (2) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）（2 分科会）及び小分科会委員（1 小委員会）を決定した。
- 特段の事情を考慮し、以下の分科会に、複数名の特任連携会員が任命された。
- ・ 法学委員会生殖補助医療と法分科会
- (3) 課題別委員会における分科会委員（特任連携会員）（2 分科会）を決定した。
- (4) 国際業務に参画するための特任連携会員の任命を決定した。